

## 第78回日本体力医学会大会のご案内（第2報）

第78回日本体力医学会大会は下記のように準備を進めております。一般研究発表抄録の登録および学会誌「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMS) Vol. 13, No. 6」への抄録提出はすべて大会ウェブサイト上で行います。本大会の一般研究発表への応募は学会員に限りませんが、共同研究者は学会員でなくともかまいません。

なお、最新情報は第78回学会大会ウェブサイト（<https://tairyoku78.com/>）をご覧ください。

### 記

1. 会 期：令和6年9月2日(月)、3日(火)、4日(水)
2. 会 場：佐賀大学 本庄キャンパス  
(〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1)
3. 大 会 長：松山 郁夫（佐賀大学教育学部 教授）
4. 副 大 会 長：安西 慶三（佐賀大学医学部 教授）
5. 大会事務局：第78回日本体力医学会大会 主催事務局  
〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1 佐賀大学 教育学部 5号館  
運営事務局：株式会社ハートス 第78回大会 運営デスク  
〒541-0056 大阪府大阪府中央区久太郎町1-6-29  
フォーキャスト堺筋本町10階  
TEL：06-6734-5886（10：00～12：00 13：00～17：00）  
FAX：06-6734-5887  
E-mail：tairyoku78@heart-s.co.jp
6. 大会プログラム（予定）
  - (1) 大会長講演
  - (2) 特別講演
  - (3) 教育講演
  - (4) 若手研究者講演
  - (5) シンポジウム
  - (6) 一般研究発表（口述・ポスター）
  - (7) 学会賞受賞講演
  - (8) ランチョンセミナー
  - (9) その他

# 参加登録方法

## 1. 参加登録の方法

大会に参加するには参加登録が必要です。参加登録方法は、事前登録および当日登録があります。事前登録は大会ウェブサイト上で、当日登録は大会会場受付で行います。なお、事前登録され、大会参加費を納入された方には大会開催前に大会参加証をお送りする予定です。  
(予稿集についてはオンライン参加者のみへの郵送予定となります。)

## 2. 大会参加費 (予定)

学会会員	事前登録 (リアル参加)	一般	10,000円	学生	5,000円
	事前登録 (オンライン参加)	一般	10,000円	学生	5,000円
	当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円
非会員	事前 (リアル及びオンライン)・当日登録	一般	12,000円	学生	7,000円

## 3. 事前登録

### (1) 事前登録期間

2024年4月3日(水)～7月31日(水) 正午まで

### (2) 事前登録方法

事前登録は大会ウェブサイト参加登録のページから、案内に従い登録を行って下さい。  
第78回学会大会ウェブサイト: <https://tairyoku78.com/>  
※オンライン登録以外の事前登録方法はございませんので、ご注意ください。

### (3) 事前登録の参加費支払い方法

後日公開する大会ウェブサイト参加登録のページをご参照ください。

### (4) 当日登録方法

事前登録をされていない方が本大会に参加する場合は当日登録をしていただくことになります。大会開催期間中は、受付に当日登録窓口を設置しますので、必ず登録をお願いいたします。

- ※大会の一般研究発表への応募は学会員に限ります。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。会員および非会員の共同研究者が本大会に参加する場合は大会参加費が必要となります。
- ※大会の一般研究発表への応募は、事前参加登録を演題登録前に完了いただく必要があります。

## シンポジウム募集のお知らせ

第78回日本体力医学会大会では、シンポジウムを会員より募集します。提案を希望される方は以下の要領でご応募下さい。

### 【応募資格】

日本体力医学会会員

### 【応募方法】

#### 1. 応募申込要項

シンポジウム応募申込登録を、第78回学会大会ウェブサイト：<https://tairyoku78.com/>にて行ってください。

#### 2. 締め切り

**2024年2月29日(木) 正午まで**

### 【選考方法】

第78回日本体力医学会大会学術企画ワーキンググループで審査し、選出する予定です。

今回の選考では、企画者や登壇者の中に若手（39歳以下）や女性がいる場合には優先して採用する場合があります。

### 【結果通知】

選考結果は2024年3月下旬までに、シンポジウム企画者宛に通知いたします。

### 【注意事項】

応募者は会員に限られますが、座長・演者は非会員でも可とします。また、非会員の座長・演者に対しては大会参加費徴収を行いません。なお、旅費・謝礼等に関しては、大会事務局では負担できませんので、予めご了承の上、ご応募ください。

# 演題応募方法

## 【登録資格】

大会への一般研究発表演題登録ができるのは、大会事前参加登録を完了した会員番号を持つ日本体力医学会員に限ります（会員番号は会員名簿に記載）。共同研究者は学会員でなくてもかまいません。非会員の方で日本体力医学会に入会希望の方は、日本体力医学会ウェブサイトからオンラインで入会手続きを行って下さい（自動返信メールで会員番号が通知されます）。FAX・郵送の場合は入会手続き後、会員番号がお手元に届くまでに数週間かかりますので、お早めの手続きをお願いします。

### ●入会申し込み・問い合わせ

事務局：一般社団法人日本体力医学会

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階

学会支援機構内

TEL：03-5981-6015（学会専用） FAX：03-5981-6012（学会支援機構）

E-mail：jpsfsm@asas-mail.jp

## 【登録方法】

演題登録開始：2024年4月3日(水) 正午から

締切：2024年5月15日(水) 17時まで

一般研究発表の演題登録の際には、予め大会ウェブサイト上で事前登録をお済ませください。

一般研究発表は、口頭発表とポスター発表の2種類です。演題登録時に発表形式の選択を行って下さい。ただし、口頭発表には限りがありますので、希望に添えない場合があります。ポスター発表は現地での対面発表（演題数は限定）とオンライン発表となります。発表形式の決定は第78回日本体力医学会大会に一任させていただきますことをご了承下さい。発表形式の決定は演題採択時にお知らせいたします。なお、発表者としての一般研究発表への登録は、会員1名につき1演題に限ります。共同研究者としての演題登録は、何演題でもかまいません。

演題登録は大会ウェブサイト演題募集ページより、案内に従って進めて下さい。最初に演題登録した際に自動的に演題登録番号が発行されます。また、登録者ご本人に任意のパスワードを決めていただきます。登録番号とパスワードは、登録の変更と、後日の「JPFISM Vol. 13, No. 6」掲載用抄録の登録に必要になりますので忘れることのないようご注意ください。毎年、パスワードを失念されたとの問い合わせが事務局宛に多くありますが、事務局では一切対応できません。

大会ウェブサイトURL：<https://tairyoku78.com/>

<一般研究発表された演題の抄録は英文とし学会誌「JPFISM Vol. 13, No. 6」に掲載します>

※英文抄録は発表者各自でネイティブチェックを受けることを推奨します。

「JPFISM Vol. 13, No. 6」の掲載用抄録の登録期間

開始 2024年7月上旬（採択通知到着後から）

締切 2024年9月25日(水) 正午まで

締切を過ぎると「JPFISM Vol. 13, No. 6」への抄録の掲載ができません。

## 【その他】

- (1) 会員の使用コンピューターの問題で演題応募ができない場合でも特別の配慮はいたしません。
- (2) 登録番号、パスワードに関するお問い合わせにはセキュリティーの関係上応じられません。登録番号とパスワードは大切に保管して下さい。
- (3) トラブル発生などの情報は、大会ウェブサイト上に随時掲載いたします。

## 査読をお願いした先生方は次の方々です

2022年12月1日～2023年11月30日投稿分

池戸 葵	川西 範明	田平 一行	福元 喜啓
伊藤 咲子	北濃 成樹	辻本 健彦	蒔苗 裕平
井上 孝仁	近藤 早希	角田 憲治	松浦 佑希
井村 祥子	笹山 健作	出村 友寛	三枝 巧
江川 賢一	佐渡 夏紀	中村 雅俊	右田 孝志
岡 浩一朗	設楽 佳世	西脇 雅人	水島 諒子
小川 剛司	清野 諭	長谷川 伸	森嶋 琢真
鍛島 秀明	膳法 浩史	原田 和弘	山口 真紀
鎌田 真光	薛 載勲	深野 真子	山科 吉弘

36名 (五十音順, 敬称略)

## 一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2023年9月）議事録

日時：2023年9月16日（土）午後5時30分～6時30分

場所：AP東京八重洲11階Lルーム

議長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長， 碓井外幸副理事長，  
武政 徹常務理事， 井福裕俊， 太田 眞，  
後藤勝正， 下光輝一， 須田和裕， 須永美歌子，  
田中喜代次， 中里浩一， 永富良一， 成田和穂，  
宮内 卓， 宮川俊平， 和氣秀文各理事，  
井上 茂， 清田 寛各監事，  
山津幸司第78回大会実行委員長

欠席者：赤間高雄， 大野 誠， 栗原 敏， 小山勝弘，  
新開省二， 竹森 重， 浜岡隆文，  
前田清司各理事， 小林康孝， 定本朋子各監事

は2023年8月25日の理事会での報告以降に生じた，  
新たな報告事項があれば，報告していただくよう，依  
頼があった。その結果，編集委員会報告のみとなった。

・編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき，報告がなされた。

仮想インパクトファクター

（クラリベイト・アナリティクス社調べ 2023.8.21）

2022年に引用された回数15回／2020年～2021年に  
掲載されたすべての論文数66編

「JPFMS誌」 $15 \div 66 = 0.23$

（2021年  $21 \div 59 = 0.36$ ）（2020年  $39 \div 66 = 0.59$ ）

（2019年  $20 \div 86 = 0.23$ ）（2018年  $46 \div 93 = 0.49$ ）

（2017年  $45 \div 92 = 0.49$ ）（2016年  $28 \div 116 = 0.24$ ）

（2015年  $16 \div 140 = 0.11$ ）

### 【審議事項】

#### 1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

武政総務委員長より，「11. 名誉会員待遇内規につ  
いて」の議事に関連して，そこで承認された名誉会員  
待遇内規の条文の文言に名誉会員は大会参加費が免除  
されると記載がある一方，名誉会員候補者への意向調  
査の文書には大会参加費の支払いは必要と記載があ  
り，内容が食い違っていることなど，同内規に対して  
意見が出された。これを受けて名誉会員待遇内規の取  
り下げについて採決の結果，取り下げは行わないこと  
となった。名誉会員待遇に関するより詳細な取り決め  
については，次期理事会へ申し送ることとした。

その他の内容については，理事会終了時までに訂正等  
がなかった場合には，自動的に承認されることにした。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会報告

鈴木理事長より，本理事会に於ける各種委員会報告

#### 2. 日本体力医学会特別大会2023東京シンポジウムに ついて（鈴木理事長）

鈴木理事長より，日本体力医学会特別大会2023東京  
シンポジウムの進捗状況が報告された。

#### 3. 第78回（佐賀）大会の進捗状況

（山津第78回大会実行委員長）

第78回大会実行委員長の山津氏より，大会の準備状  
況について報告された。

#### 4. その他

##### 1) 監査報告について

清田監事より，大会収支は大会校の手配で学会本  
体とは別の公認会計士によりすでに監査が行われて  
いるため，大会収支を除いた部分について令和5年  
度会計報告の監査を行い，問題は認められなかった  
旨が報告された。



## 一般社団法人日本体力医学会 令和5年度評議員会 議事録

日 時：2023年9月17日(日)

午後12時20分～午後1時20分

場 所：早稲田大学大隈記念講堂 大講堂

議 長：下光輝一

出席理事監事：鈴木政登, 碓井外幸, 武政 徹,  
赤間高雄, 太田 真, 後藤勝正,  
小山勝弘, 下光輝一, 須田和裕,  
須永美歌子, 竹森 重, 中里浩一,  
永富良一, 成田和穂, 浜岡隆文,  
前田清司, 宮内 卓, 宮川俊平各理事,  
井上 茂, 清田 寛, 定本朋子各監事

議事録作成者：下光輝一

議事に先立ち、鈴木政登大会長の挨拶があった。続いて、武政常務理事より、“評議員会兼社員総会の成立”について説明された。定款によれば、評議員会は現評議員数510名のうち、委任状を含めた過半数(255名)以上の出席があれば開催可能となる。2023年9月1日時点で、評議員Web登録委任状96名および往復はがき委任状187名を併せて283名、出席者62名であり、合計345名となる。過半数255名を超えたので評議員会の開催が成立する旨、報告された。

武政常務理事により、令和5年度評議員会兼社員総会開催が宣言された。

### 【報告事項】

#### 1. 令和5年度庶務報告に関する件(武政総務委員長)

##### 1) 会員総数 3,420名(2023年7月31日現在)

名誉会員	33名
正会員	3,323名
シニア会員	53名
外国会員	6名
賛助会員	5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社、株式会社ウイスマー

##### 2) 役員数

評議員	510名
(内) 医師	66名
(内) 非医師	444名
(内) 理事	24名
監事	4名

##### 3) 購読数 114団体

体力科学	108団体
JPFMSM	6団体

##### 4) 年度内入退会状況

新入会員	47名
退会者	315名
(内) 申込者	182名
自然退会	133名

#### 2. 令和5年度事業報告に関する件(各委員長)

以下のとおり令和4年度事業について報告された。

#### 1) 事業期間

2022年(令和4年)8月1日～

2023年(令和5年)7月31日

#### 2) 委員会活動

##### ・総務委員会

##### 1) 学会大会長に関する事項

第79回大会(2025年、滋賀県開催)の大会長候補者として、田畑泉氏(立命館大学・スポーツ健康科学部 特命教授)を2023年2月17日の理事会において推薦した。第80回大会(2026年、青森県開催)の大会長の推薦については東北地方会とコンタクトし、調整を行っている。

##### 2) その他の事項

中富健康科学振興財団「健康科学の発展に功績のあった研究者顕彰」の候補者を、本学会申し合わせを参考に選考した。候補者は2023年8月25日開催の理事会に推薦した。

##### ・編集委員会

##### 1) 学会誌出版(学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開)

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol. 11のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 12のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 71のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 72のNo. 1, No. 2, No. 3

①電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

②JPFMSM掲載論文リストのメール配信

##### 2) 研究倫理に関するガイドライン改正に伴い、「体力科学」投稿規定改訂(9/13)

##### 3) JPFMSM「J-STAGE Data」利用開始について利用規定を学会ホームページに掲載(9/22)

##### 4) 「自己剽窃(自己盗用)」ならびに「サラミ出版」の禁止について学会ホームページに掲載(4/5)

##### 5) 国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)2023年度ジャーナルコンサルティング

「ジャーナルインパクトファクター(JIF)取得要件への準拠」2023年6月～2024年3月

・ジャーナルコンサルティング顔合わせミーティング実施(6/29)

##### ・学術委員会

##### 1) スポーツ医学研修会委員会

新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は本年(令和5年)度も中止の旨、学術委員会、スポーツ医学研修会委員会にて決定した。中止の決定は本学会ホームページ(6/2)および一斉メール配信にて告知した。

##### 2) 称号委員会

「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」

2023年度：授与・贈呈者数12名に贈呈した。

※「コロナ禍」で影響を受けている。

## 3) 学会賞選考委員会

第36回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

## 4) ガイドライン検討委員会

「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で大きな社会問題となっているため、「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを進めている。さらに、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めている。

## ・財務委員会

令和6年度予算案の作成と令和5年度の予算の適切な執行の確認。

## ・利益相反委員会

情報収集に努めた。

## ・評議員選考委員会

1) 令和4年度評議員候補者28名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた(男性:24名,女性:4名)。

2) 評議員候補者申請書の中に候補者が査読できる専門分野を記載する欄を作って欲しいとの編集委員会からの依頼を受け、申請書の書式を一部改訂した(2022年11月)

3) 令和5年度評議員候補者として5件の申請があり、Web会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。(男性:5名,女性:0名)

## ・渉外委員会

1) 学会HPでの渉外委員会所掌の学術交流支援活動の紹介

(ア) 主要関連国際学術団体の紹介

① 渉外委員会として推奨する国際学術集會を紹介

ACSM, ECSS, ISPAH, IBEC, IUPS, FAOPS, IPE, IBE, ISBNPA, BASEM, ASN, FIMS, ACCESS, ASK その他。

2) 国際学術交流事業

(ア) 国際学術交流奨励賞(再開)

① 2022年4月~2023年3月31日までの国内外で開催された国際学会(5カ国以上が参加する学会)での発表を評価

② 筆頭演者としてオリジナルな演題を発表している若手を中心とする学会会員

③ 最優秀賞1名, 優秀賞3名(口頭30万円, 20万円, ポスター15万円, 10万円)

④ 受賞者

(1) 口頭最優秀賞: 田淵絢香

電気通信大学

ACSM 2022 San Diego USA: Pharmacological Inhibition of Ryanodine Receptors Immediately After Eccentric Contractions Exercise Effectively Reduces Exercise-induced Muscle Damage In Rat Skeletal Muscle

(2) 口頭優秀賞: 土橋康平

北海道教育大学

19th International Conference on En-

vironmental Ergonomics Niagara Falls Canada: Hypocapnic hyperventilation and hypoxia additively increase anaerobic metabolism during supramaximal exercise

(3) ポスター最優秀賞: 塩谷彦人

早稲田大学スポーツ科学学術院

40th Conference of the International Society of Biomechanics in Sports Liverpool UK: Associations between exercise-induced flattening of foot arch and fatigue of extrinsic and intrinsic foot muscles

(4) ポスター優秀賞: 竹田怜央

電気通信大学

18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Loss of CMAH improved cellular senescence in adipose tissues and insulin sensitivity in aged mice

(5) ポスター優秀賞: 曾谷祐太

電気通信大学

18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Mathematical modeling of skeletal muscle protein synthesis pathway activated by resistance exercise

(6) ポスター優秀賞: 藤本知臣

新潟医療福祉大学健康スポーツ学科

19th International Conference on Environmental Ergonomics, Niagara Falls Canada: TRPM8 contributes to cutaneous vasoconstriction during local, but not whole-body cooling in humans

(イ) 2023 ECSS JSPFSM-ECSS交流シンポジウム シンポジスト派遣

2023年7月6日 ECSS-JSPFSM交流シンポジウム: Complex effects of acute exercise on cognition

座長・演者: 紙上敬太(中京大学)

演者: 紙上敬太(中京大学), Sebastian Ludyga(Basel大学), Lauren B. Raine(Northeastern大学)

(ウ) 韓国運動生理学会2023 KSEP交流シンポジウム シンポジスト派遣

① Joint Symposium between JSPFSM and KSEP

2023年4月7日(金)~8日(土)

場所: 檀国大学校(天安)

座長: 秋本崇之(早稲田大学)

演者1: 奥津光晴(名古屋市立大学)

Exercise-mediated regulation of antioxidants expression in oxidative muscle requires p62 phosphorylation

演者2: 亀本佳世子先生(大阪公立大学)

Appetite and energy intake across the



menstrual cycle in athletes

- ②今後のKSEPとJSPFSMの交流に関する意見交換  
本学会大会における交流シンポジウム開催検討

(エ) AFSM アジアスポーツ医学連盟 Executive Committee 2022.12.17 (Hong Kong)

- ①AFSM 会員としてのJSPFSMの位置づけ確認

- ②AFSM 会長と、JSPFSM 参加における課題について共有

(1) AFSMはスポーツ医学(主として整形外科)中心、JSPFSMはスポーツ科学(体力科学、疫学、生理学、生化学、神経科学、健康科学など)中心であること、それぞれの領域の接点を今後探る。

(2) 日本臨床スポーツ医学会との連携を探る。

### 3) 国内交流事業

(ア) 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」

- ①日本医学会総会市民向けセッション「フレイル・ロコモを予防する：80GOの実現へ向けて」

2023年4月23日(日)

東京ステーションカンファレンス

演者：内藤久士(順天堂大学)

フレイル・ロコモ予防のための身体活動・運動

演者：永富良一(東北大学)

地域の仲間や家族と一緒にすこやかな体づくり

- ②書籍『フレイル・ロコモのグランドデザイン』の出版事業

- ③日本肥満学会・日本肥満症治療学会  
合同企画シンポジウム

2023年11月26日 仙台国際センター

東北大学 門間陽樹(演者)

(イ) 日本生理学会

- ①第101回日本生理学会合同シンポジウム企画  
2024年3月28日(木)

身体不活動研究から切り開く健康科学の  
新展開～骨格筋研究における最新知見～

オーガナイザー：和氣秀文(順天堂大学)

座長：吉原利典(順天堂大学), 富賀裕貴(佐賀大学)

#### ・倫理委員会

大会の演題応募における倫理的手続きの検討(アンケート調査実施の検討)

#### ・広報委員会

学会ホームページの管理・運営

#### ・男女共同参画推進委員会

1) 男女共同参画学協会連絡会への参加

2) ワークショップ開催に関する検討

#### ・全国地方会実行委員会

コロナ禍でのブランクを乗り越えて地方会の活気が戻ってきている。

### 3) 第77回日本体力医学会大会の実施

大会長：小橋 元(獨協医科大学副学長・医学部公

衆衛生学講座教授)

会 期：2022年(令和4年)9月21日(水)～23日(金)  
会 場：Web開催(オンデマンド配信：2022年(令和4年)10月20日(木)まで)

- 4) 令和5年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®  
称号認定者

継続(7名)

藤野雅広 山口秀明 太田宣康

大野政人 松谷昌典 三宅亮輔

山口和輝

終身(5名)

藤原敬且 石垣華奈 石山育朗

関 健 原 哲夫 (敬称略)

- 5) 令和5年度日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー称号贈呈者

須永美歌子 前田清司 宮川俊平

和氣秀文 (敬称略)

### 3. 令和6年度事業計画に関する件(各委員長)

令和6年度事業計画について、以下のような報告がなされた。

#### 1) 事業期間

2023年(令和5年)8月1日～

2024年(令和6年)7月31日

#### 2) 委員会活動

##### ・総務委員会

1) 第80回青森大会(2026年)の大会長の推薦

2) 学会総務に関わる事業、規則の見直し

##### ・編集委員会

1) ジャーナルの発行、公開(J-STAGE, DOAJ)

JPFMSM: Vol. 12-4～13-3 (合計6号)

体力科学: Vol. 72-4～73-3 (合計6号)

2) 掲載論文数を増やす

[JPFMSM]: 特集を掲載する。

JPFMSM特集号, 掲載予定のテーマ

「The insight in the rehabilitation of pelvic trauma」(その他2件, 企画あり)

[体力科学]: 特集を掲載する。

3) 学会大会等での「研究倫理」「研究不正防止」を目的とした教育講演等の開催について検討する。

4) JST「J-STAGE国際発信力強化(ジャーナルインパクトファクター(JIF)取得支援の取り組み)への応募

##### ・学術委員会

1) スポーツ医学研修会委員会

第31回スポーツ医学研修会(於日体大)の中止(学会HPに案内を掲載)

※令和2・3・4年度に引き続き第31回スポーツ医学研修会を中止する(コロナ禍での安全・安心対策としての対応による)。

2) 称号委員会

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査を申請により実施する。〔称号の有効期間である5年間(継続申請のための再研修基準として、5年間で10点の研修単位が必要。)に、令和2年度～4年度分の時間をカウントしない(除い

て5年間の意).] 詳細は以下の通りとする。  
尚、令和5年度中に、5年間で研修単位10点を満たし、継続申請をされた方には、例年通りに称号を付与する。

<2020～2023年度分を除く有効期間5年間について>

※2015年度からの5年間分は、2020～2023年度を除く

2024年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2016年度からの5年間分は、2020～2023年度を除く

2025年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2017年度からの5年間分は、2020～2023年度を除く

2026年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2018年度からの5年間分は、2020～2023年度を除く

2027年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

### 3) 学会賞選考委員会

第37回日本体力医学会賞候補の選考を実施する。

### 4) ガイドライン検討委員会

わが国において、「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が大きな社会問題となっており、ゆえに「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めてゆく。

### ・財務委員会

令和7年度予算案の作成

大会における本部企画シンポジウムなどの予算計上について

### ・評議員選考委員会

ホームページおよび機関誌に掲載した評議員選考内規(令和2年2月21日改定)のさらなる周知をはかり、評議員推薦申請の増加およびとりわけ女性評議員の増加を目指す。

### ・渉外委員会

#### 1. 国際学術交流

##### 1) 国際学術交流奨励賞

(R5.4月～R6.3月の国際学会参加者対象)

##### 2) 国際学会交流事業

(1) ECSS交流事業：JSPFSM-ECSS Exchange Symposium

(2) 韓国運動生理学会交流事業

(3) その他の国際学会との連携・交流

1. 国際生理科学連合 (IUPS)

2. アジアオセアニア国際生理学連合 (FAOPS)

3. アジアスポーツ科学会議 (ACCESS)

4. アジアスポーツ医学連盟 (AFSM)

5. 国際スポーツ医学連盟 (FIMS)

6. その他

(4) 主要関連国際学術団体のHP上での紹介

1. 渉外委員会として推奨する国際学術集会を紹介する。

ACSM, ECSS, ISPAH, IBEC, IUPS, FAOPS, IPE, IBE, ISBNPA, BASEM, ASN, FIMS, ACCESS, ASK その他。

#### 2. 国内学術交流

##### 1) 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」企画

「フレイル・ロコモを予防する：80GOの実現へ向けて」

(1) 日本生理学会の合同シンポジウム企画

(2) その他

##### ・倫理委員会

1) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発

2) 大会の演題応募における倫理的手続き(日本医学会連合の指針)の検討

##### ・広報委員会

1) ホームページのコンテンツに関する検討

2) その他、本学会に関わる事項の広報活動

##### ・男女共同参画推進委員会

1) 男女共同参画推進に関する情報収集

2) 学術大会での企画検討・実施

##### ・利益相反委員会

情報収集に努める

##### ・全国地方会実行委員会

遠隔会合のノウハウを取り入れたコロナ後の地方会運営の工夫を情報共有する。

##### 3) 日本体力医学会特別大会－2023東京シンポジウム－の準備

大会長：鈴木政登(一般社団法人日本体力医学会理事長)

会期：2023年(令和5年)9月17日(日)

会場：早稲田大学大隈記念講堂

(〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104)

##### 4) 第78回日本体力医学会大会(佐賀)の準備

大会長：松山郁夫(佐賀大学教育学部学校教育課程教授)

会期：2024年(令和6年)9月2日(月)～4日(水)

会場：佐賀大学本庄キャンパス

(〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1)

#### 4. 令和6年度会計報告(予算)に関する件

(宮川財務委員長)

令和6年度予算書が提示され、令和6年度の収入額合計45,609,500円、支出合計額が48,560,000円で、赤字見込みである旨、報告された。

#### 5. 第79回日本体力医学会大会(滋賀)に関する件

(武政総務委員長)

大会長として田畑泉氏(立命館大学スポーツ健康科学部特命教授)が理事会で承認された旨、報告された。

#### 6. 令和5年度会計報告(会計)に関する件

(宮川財務委員長)

令和5年度決算について、当年度収支としては3,031,280円の黒字となり、次年度繰越金は93,942,233円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き清田監事より監査報告が行われた。

#### 7. 名誉会員推薦に関する件(武政総務委員長)

総務委員会にて名誉会員推薦内規に基づき以下の9

名の候補者が推薦され、理事会で承認された旨の報告がなされた。

新名誉会員（9名）

大野 誠	勝村俊仁	川原 貴
栗原 敏	坂本静男	下村吉治
田中喜代次	西平賀昭	能勢 博

（敬称略）

#### 8. 役員改選に関する件（鈴木理事長）

以下のとおり令和5年度社員総会後の役員について、選挙結果の報告がなされた。

新理事（25名）

赤間 高雄	井上 茂	岡 浩一朗
小熊 祐子	甲斐裕子	勝川史憲
後藤勝正	下光輝一	須永美歌子
竹森 重	田畑 泉	田村好史
内藤久士	内藤義彦	中里浩一
中田由夫	永富良一	成田和穂
浜岡隆文	檜垣靖樹	前田清司
町田修一	宮川俊平	宮地元彦
宮下政司		

新監事（4名）

家光素行	石井好二郎	清田 寛
小林康孝		（敬称略）

#### 9. その他

- 1) 田畑第79回大会長より、挨拶があった。
- 2) 山津第78回大会実行委員長より、第78回大会概要の報告があった。

#### 【審議事項】

##### 1. 評議員推薦に関する件

（小山評議員選考委員会副委員長）

大野評議員選考委員長が欠席のため、小山副委員長より代理で報告された。

令和5年度評議員推薦に関しては5名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有することが報告された。評議員会で審議の結果、承認された。

新評議員（5名）

安藤 創一	大須賀洋祐	北嶋康雄
水野 貴正	三橋敏武	（敬称略）

## 一般社団法人日本体力医学会 令和5年度社員総会 議事録

日 時：2023年9月17日（日）

午後12時20分～午後1時20分

場 所：早稲田大学大隈記念講堂 大講堂

議 長：鈴木政登

出席理事監事：鈴木政登、碓井外幸、武政 徹、赤間高雄、太田 真、後藤勝正、小山勝弘、下光輝一、須田和裕、須永美歌子、竹森 重、中里浩一、永富良一、成田和穂、浜岡隆文、前田清司、宮内 卓、宮川俊平各理事、井上 茂、清田 寛、定本朋子各監事

出席社員数：62名（議決権個数62個）

議事録作成者：鈴木政登

（内）医 師 66名

（内）非医師 444名

（内）理 事 24名

監 事 4名

3) 購読数 114団体

体力科学 108団体

JPFMSM 6団体

4) 年度内入退会状況

新入会員 47名

退 会 者 315名

（内）申 込 者 182名

自然退会 133名

議事に先立ち、鈴木政登大会長の挨拶があった。

#### 【報告事項】

##### 1. 令和5年度庶務報告に関する件（武政総務委員長）

1) 会員総数 3,420名（2023年7月31日現在）

名 誉 会 員 33名

正 会 員 3,323名

シニア会員 53名

外 国 会 員 6名

賛 助 会 員 5団体

公益財団法人石本記念デサントスポーツ科学振興財団、鶴岡印刷株式会社、公益財団法人明治安田厚生事業団、大塚製薬株式会社、株式会社ウイスマー

2) 役員数

評 議 員 510名

##### 2. 令和5年度事業報告に関する件（各委員長）

以下のとおり令和4年度事業について報告された。

1) 事業期間

2022年（令和4年）8月1日～

2023年（令和5年）7月31日

2) 委員会活動

・総務委員会

1) 学会大会長に関する事項

第79回大会（2025年、滋賀県開催）の大会長候補者として、田畑泉氏（立命館大学・スポーツ健康科学部 特命教授）を2023年2月17日の理事会において推薦した。第80回大会（2026年、青森県開催）の大会長の推薦については東北地方会とコンタクトし、調整を行っている。

2) その他の事項

中富健康科学振興財団「健康科学の発展に功績のあった研究者顕彰」の候補者を、本学会申し

合わせを参考に選考した。候補者は2023年8月25日開催の理事会に推薦した。

・編集委員会

1) 学会誌出版（学会誌刊行に係わる事業及び電子ジャーナル公開）

「The Journal of Physical Fitness and Sports Medicine (JPFMSM)」

Vol. 11のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 12のNo. 1, No. 2, No. 3

「体力科学」

Vol. 71のNo. 4, No. 5, No. 6; Vol. 72のNo. 1, No. 2, No. 3

①電子ジャーナルの公開は、J-STAGE『印刷前公開』での実施及びDOAJへのメタデータアップロード

②JPFMSM掲載論文リストのメール配信

2) 研究倫理に関するガイドライン改正に伴い、「体力科学」投稿規定改訂（9/13）

3) JPFMSM「J-STAGE Data」利用開始について利用規定を学会ホームページに掲載（9/22）

4) 「自己剽窃（自己盗用）」ならびに「サラミ出版」の禁止について学会ホームページに掲載（4/5）

5) 国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）2023年度ジャーナルコンサルティング

「ジャーナルインパクトファクター（JIF）取得要件への準拠」2023年6月～2024年3月

・ジャーナルコンサルティング顔合わせミーティング実施（6/29）

・学術委員会

1) スポーツ医学研修会委員会

新型コロナウイルス感染拡大を受けて本研修会は本年（令和5年）度も中止の旨、学術委員会、スポーツ医学研修会委員会にて決定した。中止の決定は本学会ホームページ（6/2）および一斉メール配信にて告知した。

2) 称号委員会

「日本体力医学会健康科学アドバイザー®」

2023年度：授与・贈呈者数12名に贈呈した。

※「コロナ禍」で影響を受けている。

3) 学会賞選考委員会

第36回日本体力医学会学会賞候補の選考を行った。

4) ガイドライン検討委員会

「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が本邦で大きな社会問題となっているため、「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを進めている。さらに、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めている。

・財務委員会

令和6年度予算案の作成と令和5年度の予算の適切な執行の確認。

・利益相反委員会

情報収集に努めた。

・評議員選考委員会

1) 令和4年度評議員候補者28名を選定し、理事会、評議員会兼社員総会にて承認を受けた（男性：24名、女性：4名）。

2) 評議員候補者申請書の中に候補者が査読できる専門分野を記載する欄を作って欲しいとの編集委員会からの依頼を受け、申請書の書式を一部改訂した（2022年11月）

3) 令和5年度評議員候補者として5件の申請があり、Web会議にて慎重に審査したところ全員「適格」と判定した。（男性：5名、女性：0名）

・渉外委員会

1) 学会HPでの渉外委員会所掌の学術交流支援活動の紹介

(ア) 主要関連国際学術団体の紹介

①渉外委員会として推奨する国際学術集會を紹介

ACSM, ECSS, ISPAH, IBEC, IUPS, FAOPS, IPE, IBE, ISBNPA, BASEM, ASN, FIMS, ACCESS, ASK その他。

2) 国際学術交流事業

(ア) 国際学術交流奨励賞（再開）

①2022年4月～2023年3月31日までの国内外で開催された国際学会（5カ国以上が参加する学会）での発表を評価

②筆頭演者としてオリジナルな演題を発表している若手を中心とする学会会員

③最優秀賞1名、優秀賞3名（口頭30万円、20万円、ポスター15万円、10万円）

④受賞者

(1) 口頭最優秀賞：田淵絢香  
電気通信大学

ACSM 2022 San Diego USA: Pharmacological Inhibition of Ryanodine Receptors Immediately After Eccentric Contractions Exercise Effectively Reduces Exercise-induced Muscle Damage In Rat Skeletal Muscle

(2) 口頭優秀賞：土橋康平  
北海道教育大学

19th International Conference on Environmental Ergonomics Niagara Falls Canada: Hypocapnic hyperventilation and hypoxia additively increase anaerobic metabolism during supramaximal exercise

(3) ポスター最優秀賞：塩谷彦人  
早稲田大学スポーツ科学学術院

40th Conference of the International Society of Biomechanics in Sports Liverpool UK: Associations between exercise-induced flattening of foot arch and fatigue of extrinsic and intrinsic foot muscles

(4) ポスター優秀賞：竹田怜央  
電気通信大学

18th International Biochemistry of Exer-



- cise Conference, Toronto, Canada: Loss of CMAH improved cellular senescence in adipose tissues and insulin sensitivity in aged mice
- (5) ポスター優秀賞：曾谷祐太  
電気通信大学  
18th International Biochemistry of Exercise Conference, Toronto, Canada: Mathematical modeling of skeletal muscle protein synthesis pathway activated by resistance exercise
- (6) ポスター優秀賞：藤本知臣  
新潟医療福祉大学健康スポーツ学科  
19th International Conference on Environmental Ergonomics, Niagara Falls Canada: TRPM8 contributes to cutaneous vasoconstriction during local, but not whole-body cooling in humans
- (イ) 2023 ECSS JSPFSM-ECSS交流シンポジウム シンポジスト派遣  
2023年7月6日 ECSS-JSPFSM交流シンポジウム：Complex effects of acute exercise on cognition  
座長・演者：紙上敬太（中京大学）  
演者：紙上敬太（中京大学），Sebastian Ludyga（Basel大学），Lauren B. Raine（Northeastern大学）
- (ウ) 韓国運動生理学会2023 KSEP交流シンポジウム シンポジスト派遣
- ① Joint Symposium between JSPFSM and KSEP  
2023年4月7日(金)～8日(土)  
場所：檀国大学校（天安）  
座長：秋本崇之（早稲田大学）  
演者1：奥津光晴（名古屋市立大学）  
Exercise-mediated regulation of antioxidants expression in oxidative muscle requires p62 phosphorylation  
演者2：亀本佳世子先生（大阪公立大学）  
Appetite and energy intake across the menstrual cycle in athletes
- ② 今後のKSEPとJSPFSMの交流に関する意見交換  
本学会大会における交流シンポジウム開催検討
- (エ) AFSMアジアスポーツ医学連盟Executive Committee 2022.12.17 (Hong Kong)
- ① AFSM会員としてのJSPFSMの位置づけ確認
- ② AFSM会長と、JSPFSM参加における課題について共有
- (1) AFSMはスポーツ医学（主として整形外科）中心、JSPFSMはスポーツ科学（体力科学、疫学、生理学、生化学、神経科学、健康科学など）中心であること、それぞれの領域の接点を今後探る。
- (2) 日本臨床スポーツ医学会との連携を探る。
- 3) 国内交流事業
- (ア) 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」
- ① 日本医学会総会市民向けセッション「フレイル・ロコモを予防する：80GOの実現へ向けて」  
2023年4月23日(日)  
東京ステーションカンファレンス  
演者：内藤久士（順天堂大学）  
フレイル・ロコモ予防のための身体活動・運動  
演者：永富良一（東北大学）  
地域の仲間や家族と一緒にすこやかな体づくり
- ② 書籍『フレイル・ロコモのグランドデザイン』の出版事業
- ③ 日本肥満学会・日本肥満症治療学会合同企画シンポジウム  
2023年11月26日 仙台国際センター  
東北大学 門間陽樹（演者）
- (イ) 日本生理学会
- ① 第101回日本生理学会合同シンポジウム企画  
2024年3月28日(木)  
身体不活動研究から切り開く健康科学の最新展開～骨格筋研究における最新知見～  
オーガナイザー：和氣秀文（順天堂大学）  
座長：吉原利典（順天堂大学），富賀裕貴（佐賀大学）
- ・倫理委員会  
大会の演題応募における倫理的手続きの検討（アンケート調査実施の検討）
- ・広報委員会  
学会ホームページの管理・運営
- ・男女共同参画推進委員会  
1) 男女共同参画学協会連絡会への参加  
2) ワークショップ開催に関する検討
- ・全国地方会実行委員会  
コロナ禍でのブランクを乗り越えて地方会の活気が戻ってきている。
- 3) 第77回日本体力医学会大会の実施  
大会長：小橋 元（獨協医科大学副学長・医学部公衆衛生学講座教授）  
会 期：2022年(令和4年)9月21日(水)～23日(金)  
会 場：Web開催（オンデマンド配信：2022年(令和4年)10月20日(木)まで）
- 4) 令和5年度日本体力医学会健康科学アドバイザー®称号認定者  
継続（7名）  
藤野雅広 山口秀明 太田宣康  
大野政人 松谷昌典 三宅亮輔  
山口和輝  
終身（5名）  
藤原敬且 石垣華奈 石山育朗  
関 健 原 哲夫 (敬称略)

- 5) 令和5年度日本体力医学会名誉健康科学アドバイザー称号贈呈者

須永美歌子 前田清司 宮川俊平  
和氣秀文 (敬称略)

### 3. 令和6年度事業計画に関する件 (各委員長)

令和6年度事業計画について、以下のような報告がなされた。

#### 1) 事業期間

2023年(令和5年)8月1日～

2024年(令和6年)7月31日

#### 2) 委員会活動

##### ・総務委員会

- 1) 第80回青森大会(2026年)の大会長の推薦
- 2) 学会総務に関わる事業、規則の見直し

##### ・編集委員会

- 1) ジャーナルの発行、公開(J-STAGE, DOAJ)  
JPFISM: Vol. 12-4~13-3 (合計6号)  
体力科学: Vol. 72-4~73-3 (合計6号)

##### 2) 掲載論文数を増やす

[JPFISM]: 特集を掲載する。

JPFISM特集号, 掲載予定のテーマ

「The insight in the rehabilitation of pelvic trauma」(その他2件, 企画あり)

[体力科学]: 特集を掲載する。

- 3) 学会大会等での「研究倫理」「研究不正防止」を目的とした教育講演等の開催について検討する。
- 4) JST「J-STAGE国際発信力強化(ジャーナルインパクトファクター(JIF)取得支援の取り組み)」への応募

##### ・学術委員会

##### 1) スポーツ医学研修会委員会

第31回スポーツ医学研修会(於日体大)の中止(学会HPに案内を掲載)

※令和2・3・4年度に引き続き第31回スポーツ医学研修会を中止する(コロナ禍での安全・安心対策としての対応による)。

##### 2) 称号委員会

日本体力医学会健康科学アドバイザー®の審査を申請により実施する。〔称号の有効期間である5年間(継続申請のための再研修基準として、5年間で10点の研修単位が必要。)に、令和2年度～4年度分の時間をカウントしない(除いて5年間の意)。〕詳細は以下の通りとする。

尚、令和5年度中に、5年間で研修単位10点を満たし、継続申請をされた方には、例年通りに称号を付与する。

<2020～2023年度分を除く有効期間5年間について>

※2015年度からの5年間分は、2020～2023年度を除く

2024年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2016年度からの5年間分は、2020～2023年度を除く

2025年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2017年度からの5年間分は、2020～2023年度を除く

2026年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

※2018年度からの5年間分は、2020～2023年度を除く

2027年度分までの5年間の研修単位10点で称号付与

#### 3) 学会賞選考委員会

第37回日本体力医学会賞候補の選考を実施する。

#### 4) ガイドライン検討委員会

わが国において、「生活習慣病の蔓延」と「高齢化の進行」が大きな社会問題となっており、ゆえに「健康寿命の延伸」を目指した活動を視野に入れたガイドラインの作成などを、他の学術団体との協力も含めて進めてゆく。また、競技スポーツにおける安全対策、特に熱中症対策やアンチドーピング等についてのガイドライン作成も進めてゆく。

##### ・財務委員会

令和7年度予算案の作成

大会における本部企画シンポジウムなどの予算計上について

##### ・評議員選考委員会

ホームページおよび機関誌に掲載した評議員選考内規(令和2年2月21日改定)のさらなる周知をはかり、評議員推薦申請の増加およびとりわけ女性評議員の増加を目指す。

##### ・渉外委員会

##### 1. 国際学術交流

##### 1) 国際学術交流奨励賞

(R5.4月～R6.3月の国際学会参加者対象)

##### 2) 国際学会交流事業

(1) ECSS交流事業: JSPFSM-ECSS Exchange Symposium

(2) 韓国運動生理学会交流事業

(3) その他の国際学会との連携・交流

1. 国際生理科学連合(IUPS)

2. アジアオセアニア国際生理学連合

(FAOPS)

3. アジアスポーツ科学会議(ACCESS)

4. アジアスポーツ医学連盟(AFSM)

5. 国際スポーツ医学連盟(FIMS)

6. その他

(4) 主要関連国際学術団体のHP上での紹介

1. 渉外委員会として推奨する国際学術集会を紹介する。

ACSM, ECSS, ISPAH, IBEC, IUPS,

FAOPS, IPE, IBE, ISBNPA, BASEM,

ASN, FIMS, ACCESS, ASK その他。

##### 2. 国内学術交流

1) 日本医学会連合TEAM事業「フレイル・ロコモ対策会議」企画

「フレイル・ロコモを予防する: 80GOの実現へ向けて」

(1) 日本生理学会の合同シンポジウム企画

(2) その他

##### ・倫理委員会

1) 会員の研究倫理の意識向上の教育・啓発

2) 大会の演題応募における倫理的手続き(日本医学会連合の指針)の検討

##### ・広報委員会

1) ホームページのコンテンツに関する検討

2) その他、本学会に関わる事項の広報活動



- ・男女共同参画推進委員会
  - 1) 男女共同参画推進に関する情報収集
  - 2) 学術大会での企画検討・実施
- ・利益相反委員会  
情報収集に努める
- ・全国地方会実行委員会  
遠隔会合のノウハウを取り入れたコロナ後の地方会運営の工夫を情報共有する。
- 3) 日本体力医学会特別大会－2023東京シンポジウム－の準備  
大会長：鈴木政登（一般社団法人日本体力医学会理事）  
会 期：2023年(令和5年)9月17日(日)  
会 場：早稲田大学大隈記念講堂  
(〒169-0071 東京都新宿区戸塚町1-104)
- 4) 第78回日本体力医学会大会（佐賀）の準備  
大会長：松山郁夫（佐賀大学教育学部学校教育課程教授）  
会 期：2024年(令和6年)9月2日(月)～4日(水)  
会 場：佐賀大学本庄キャンパス  
(〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町1)

#### 4. 令和6年度会計報告（予算）に関する件 （宮川財務委員長）

令和6年度予算書が提示され、令和6年度の収入額合計45,609,500円、支出合計額が48,560,000円で、赤字見込みである旨、報告された。

#### 5. 第79回日本体力医学会大会（滋賀）に関する件 （武政総務委員長）

大会長として田畑泉氏（立命館大学スポーツ健康科学部特命教授）が理事会で承認された旨、報告された。

#### 6. 評議員推薦に関する件 （小山評議員選考委員会副委員長）

大野評議員選考委員長が欠席のため、小山副委員長より代理で報告された。

令和5年度評議員推薦に関しては5名の推薦があり、評議員選考規定に従って審査を行い、評議員資格を有することが報告された。

新評議員（5名）

安藤 創一	大須賀洋祐	北 嶋 康 雄
水野 貴正	三 橋 敏 武	(敬称略)

#### 7. その他

- 1) 田畑第79回大会長より、挨拶があった。
- 2) 山津第78回大会実行委員長より、第78回大会概要の報告があった。

#### 【審議事項】

##### 1. 令和5年度会計報告（会計）に関する件 （宮川財務委員長）

令和5年度決算について、当年度収支としては3,031,280円の黒字となり、次年度繰越金は93,942,233円になったとの報告があった。本決算については公認会計士によるチェックが行われている事が併せて報告があり、引き続き清田監事より監査報告が行われ、社員総会で審議の結果、承認された。

##### 2. 名誉会員推薦に関する件（武政総務委員長）

総務委員会にて名誉会員推薦内規に基づき以下の9名の候補者が推薦され、理事会で承認された旨の報告がなされた。社員総会で審議の結果、承認された。

新名誉会員（9名）

大野 誠	勝村俊仁	川原 貴
栗原 敏	坂本静男	下村吉治
田中喜代次	西平賀昭	能勢 博
(敬称略)		

##### 3. 役員改選に関する件（鈴木理事長）

以下のとおり令和5年度社員総会後の役員について、選挙結果の報告がなされ、社員総会で審議の結果、新理事25名、新監事4名が承認された。

新理事（25名）

赤間 高雄	井上 茂	岡 浩一朗
小熊 祐子	甲斐裕子	勝川史憲
後藤勝正	下光輝一	須永美歌子
竹森 重	田畑 泉	田村好史
内藤久士	内藤義彦	中里浩一
中田由夫	永富良一	成田和穂
浜岡隆文	檜垣靖樹	前田清司
町田修一	宮川俊平	宮地元彦

新監事（4名）

家光素行	石井好二郎	清田 寛
小林康孝		(敬称略)

## 一般社団法人日本体力医学会新理事会（2023年9月）議事録

日時：2023年9月17日(日) 午後7時00分～7時30分

場所：早稲田大学大隈記念講堂 地下1階 大控室

出席者：永富良一、内藤久士、小熊祐子、中田由夫、井上 茂、甲斐裕子、勝川史憲、後藤勝正、下光輝一、竹森 重、田畑 泉、田村好史、内藤義彦、中里浩一、成田和穂、前田清司、町田修一、宮川俊平、宮地元彦、宮下政司（各新理事）、家光素行、石井好二郎、清田 寛（各新監事）

欠席者：赤間高雄、岡 浩一朗、須永美歌子、

浜岡隆文、檜垣靖樹（各新理事）、

小林康孝（新監事）

議事録作成者：永富良一

慣例により、本会冒頭は清田監事が司会進行することとなった。

### 【審議事項】

#### 1. 理事長・副理事長・常務理事の選任について

（清田監事）

過日開催された役員選挙の結果が報告され、理事長に永富良一理事、副理事長に内藤久士理事、小熊祐子理事、常務理事に中田由夫理事が承認された。

副理事長選挙の得票順で第1副理事長に内藤理事、第2副理事長に小熊理事とすることが承認された。

永富理事が理事長に承認されたため、以降、永富理事長を議長として議事が進められた。

#### 2. 今期の取り組みについて（永富理事長）

##### （1）会員数の減少への対応について

会員数の減少が続いており、特に若い世代の会員の減少が目立つことから、その対応のため会員種別として学生会員を創設したい旨が提案され、審議の結果、決議された。

##### （2）プログラム委員会の発足と学会大会との連携について

プログラム委員会を発足して、学会大会の実行委員会と連携しながらバランスのとれたプログラム、参加意欲を高めるプログラムを編成する体制を作りたい旨が提案され、審議の結果、決議された。

##### （3）将来構想検討委員会の発足について

各種委員会委員長や若い世代の構成員からなる将

来構想検討委員会を発足して、さまざまな立場からの意見を集めることで、将来を見据えた課題解決に円滑に取り組むための体制を整備したい旨が提案され、審議の結果、決議された。

#### 3. 各種委員会の基本方針について（永富理事長）

各種委員会はこれまで、前年の活動を踏襲する形で進められてきたが、改めて分掌を整理したい旨が説明され、各種委員会に期待される新たな役割について以下のように提案された。

##### （1）総務委員会

各委員会の分掌の整理、会員構成動向の調査に取り組むことが提案され、審議の結果、決議された。

##### （2）ガイドライン検討委員会

固定的には設置せず、必要に応じて時限で組織することが提案され、審議の結果、決議された。

##### （3）財務委員会

予算編成に当たって、前年踏襲の予算ではなく、各種委員会や事業の取り組みに応じた予算を割り当てることを提案され、審議の結果、決議された。

##### （4）スポーツ医学研修会委員会

従来までは担当可能な施設に依頼し実施してきたが、今後は各地域の医師会や国体ボランティアとの連携を目指し、研修会の在り方について再検討することが提案され、審議の結果、決議された。

##### （5）プログラム委員会

各種委員会委員長や若い世代の構成員からなるプログラム委員会を新たに発足すること、学術委員会からは独立した委員会とすることが提案され、審議の結果、決議された。

### 【報告事項】

#### 1. 各種委員会の委員長について（永富理事長）

各種委員会の委員長が提示され、総務委員長に井上理事、編集委員長に後藤理事、学術委員長に町田理事、スポーツ医学研修委員長に中里理事、学会賞選考委員長に宮地理事、財務委員長に宮川理事、評議員選考委員長に浜岡理事、渉外委員長に宮下理事、倫理委員長に成田理事、利益相反委員長に勝川理事、広報委員長に田畑理事、男女共同参画推進委員長に甲斐理事、全国地方会実行委員長に岡理事、プログラム委員長に須永理事、将来構想検討委員長に永富理事長が選任された。選挙管理委員長は後日選任することとした。

## 2024年度第1回日本体力医学会編集委員会議事録

日 時：2023年12月8日(金) 18:00~20:00  
 場 所：オフィス東京貸会議室 L4会議室  
 開催方法：対面とオンライン (Zoom) のハイブリッド形式  
 出席者：後藤勝正 (委員長),  
 和氣秀文, 前田清司, 門間陽樹 (各副委員長),  
 秋本崇之, 小林哲士, 中田由夫,  
 成田和穂, 松尾知明, 宮下政司,  
 向井直樹, 山津幸司 (各委員)  
 (編集事務局：佐藤信之, 本間佳子, 田中加奈子)  
 (オンライン) 赤間高雄, 宇高 潤, 大藏倫博, 大槻 毅,  
 川中健太郎, 小宮山伴与志, 小山照幸,  
 鈴木宏哉, 十枝内厚次, 中里浩一, 沼尾成晴,  
 福 典之, 藤田 聡, 麓 正樹, 増木静江,  
 山内秀樹, 吉川貴仁 (各委員),  
 永富良一理事長  
 欠席者：大島秀武, 加藤晴康, 木田哲夫, 小山勝弘,  
 重松良祐, 竹森 重, 富田秀仁, 中澤公孝,  
 浜岡隆文, 藤井宣晴, 柳谷登志雄,  
 渡辺 賢 (各委員) (委任状10通)

編集委員会会議の冒頭で、永富良一理事長より挨拶があった。

### 【審議事項および確認事項】

1. ジャーナルコンサルティングの実施状況について  
 後藤編集委員長より、はじめにジャーナルコンサルティングは国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) の事業で、J-STAGE 掲載ジャーナルの質的向上を支援するサービスとなっており、JPFISM は、2020年に採択され DOAJ 収載に至り、2023年度のジャーナルコンサルティングにも採択されているとの説明がなされた。  
 ジャーナルコンサルティングの実施状況は JST に提出された中間報告をもとに、今年度は IF 取得支援を実施項目とし、具体的に、ESCI および SCIE への収載を目指す、Website コンテンツならびに ITA の改善、Editorial board の改善、引用数増加に向けた施策、「Advertising Policy」の策定が挙げられた。3月の最終報告書提出に向けて、改善案を本編集委員会で審議した上で、理事会での審議・承認を経て実行となる旨の説明がなされた。
2. JPFISM 投稿規定へ「J-STAGE Data」の追加(改訂案)  
 J-STAGE Data については、データサーバーの運用開始にあたり利用が開始されている。  
 後藤編集委員長より、J-STAGE Data 利用に係る投稿規定改訂案が JST より提示されたとの説明があり、Availability of data and materials に J-STAGE Data (see below) or other を追記し、関連項目として J-STAGE Data を新たに設けることで承認された。  
 なお、J-STAGE Data 利用規定については、学会ホームページに掲載されている。

### 3. JPFISM 投稿規定「Aims and Scope」(改訂案)

後藤編集委員長より、ジャーナルコンサルティングより指摘があった「Aims and Scope」の記述から「international」を削除することについて、これまで掲載された論文の著者、Editorial board member 等をみると「international」という語句はマッチしていないので削除してはとの提案があった。

編集委員会としては「international」を削除することで承認され、次回理事会での審議事項として提出することとした。

### 4. JPFISM 投稿規定へ「Advertising Policy」の追加(改訂案)

後藤編集委員長より、ジャーナルコンサルティングより指摘があった「Advertising Policy」の追加について、必須でないが広告ポリシーを追加してはとの提案があり、追加することで承認された。

### 5. Website のセキュリティ向上に向けた URL の http から https への変更について

編集事務局より、https への変更、旧 URL から新 URL へのリダイレクトは可能との説明があった。https への変更が承認され、移行期間については、次回の学会大会を目処に運用することとし、その際は学会員へメール配信・学会 HP で呼びかけることとする。

JPFISM 誌 (表紙 4) に掲載されている URL は、次号 Vol. 13-1 より変更とする。

### 6. 投稿原稿の担当領域一覧 (体力科学・JPFISM)

後藤編集委員長より「体力科学」「JPFISM」投稿原稿の領域分類及び担当編集委員について、確認がなされた。また、委員長および副委員長が分担して投稿原稿の領域分類を担当すること、投稿原稿は、原稿の領域分類により、当該領域を担当する委員長あるいは副委員長が確認し、その上で担当編集委員を選任して査読プロセスにはいることの説明がなされ、承認された。

### 7. 特集号の企画 (今後について)

後藤編集委員長より、今後の特集号の企画について、体力科学・JPFISM とともに年 1 回の掲載を目処に、編集委員の中から担当をお願いしたいとの提案があった。また、これまで掲載料は、財政赤字のため著者の負担となっていたが新体制となったため、掲載料を学会負担とすることをあらためて理事会に依頼してはどうかと提案があった。これについて、編集委員より賛成意見が多数あり、議論の結果、掲載料免除案を次回理事会に提出することとした。現在進行中の特集号についても、次回理事会での判断に委ねることとした。永富理事長より、新しい取り組みについては理事会に提案いただきたいとの意見が付された。

### 8. 確認事項

編集事務局より、J-STAGE オンライン投稿審査システムフロー図および剽窃検出ソフトについて説明が

あった。

後藤編集委員長より、Similarity Checkの数値が50%以上の場合は、Similarity Checkの結果内容を確認してほしいとのお願いがあった。

また、査読に協力いただける評議員のデータの利用が可能となったので活用できるとの説明がなされた。査読者選定を依頼する際に、査読に協力いただける評議員のデータが必要な場合は、編集事務局にキーワードを挙げて連絡してほしいと説明があった。

新編集委員より、審査判定について質問がなされ、審査に際して、「迅速な判断」と「教育的配慮」を推奨することが確認された。

JPFISM海外編集委員6名について再任が確認された。また、後藤編集委員長より、今後海外エディターを増やしていくため、多様な地域・分野から個人的な繋がりのある先生の推薦(内諾)を各委員に依頼した。

## 9. その他

出席委員より、特集号の掲載料免除になれば、海外からReviewを執筆してもらい、世界の多くの研究者に注目してもらうことも可能になるとの意見がなされた。

出席委員より、Editorの専門領域をWebsiteに公開してはという意見がなされた。これについて、議論の結果、継続審議とすることとした。

## 第28回日本体力医学会東海地方会のご案内

日時：2024年3月16日(土) 9:00~17:00 (予定)

会場：至学館大学 9000号館 (アスリート棟)

A12教室

・アクセス (<https://www.sgk.ac.jp/access/map/>)

・学内キャンパスマップ (マップ内Pの建物)

(<https://www.sgk.ac.jp/about/campus-map/>)

・当日は、大府駅より臨時スクールバスを運行の予定

大会長：近藤精司 (至学館大学短期大学部体育学科)

会費：1. 一般 2,000円, 2. 学生・大学院生 1,000円  
(事前申込は行いません。当日、受付でお支払いください)

予定プログラム

1) 一般演題

2) 特別講演

「女子レスリングに対するメディカルサポート」

演者：後藤英之 (至学館大学)

3) シンポジウム

「ロコモティブシンドロームとフレイルの現状と予防」

座長：清水卓也 (中京大学)

演者：高石鉄雄 (名古屋市立大学), 渡邊航平 (中京大学), 西村明展 (三重大学), 水野隆文 (名古屋大学)

資格更新単位について

第28回日本体力医学会東海地方会学術集会は、健康運動指導士および健康運動実践指導者の登録更新に必要な履修単位となるよう、申請中です。

受講証明書が必要な方は「健康運動指導士証・健康運動実践指導者証を、当日にご持参ください」

連絡先

第28回日本体力医学会東海地方会学術集会事務局

(至学館大学健康科学部栄養科学科)

村上太郎

〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55

TEL: 0562-49-1291 (代)

E-mail: tamuraka@sgk.ac.jp



## 第6回日本体力医学会南九州地方会のご案内

1. 会期：令和6年2月23日(金・祝)
  2. 会場：MRT micc 3F エメラルドホール  
〒880-0001 宮崎市橘通西4丁目6番3号  
アクセス  
〈公共交通機関でお越しの場合〉  
・JR宮崎駅西口から徒歩10～15分  
・宮崎ブルーゲンビリア空港からタクシー20分、バス30分  
(橘通3丁目もしくはカーリーノ宮崎前下車)  
〈自家用車でお越しの場合〉  
・施設横の「MRTパーキング」, または近隣のコインパーキングをご利用ください  
※MRTパーキングにご駐車の場合は、駐車サービス券をお渡し致します
  3. 日程(予定)  
13:00～13:30 総会(南九州地方会 関係者)  
13:40～13:50 開催挨拶(大会長)  
14:00～14:50 特別講演(大会長)  
「社会福祉学研究科における体力科学にかかわる研究」  
14:55～15:55 教育講演(筑波大学体育系 下山寛之助教)  
「ヒューマンハイパフォーマンス向上のためのエネルギーバランスを考慮したウェイトコントロール」  
16:00～16:30 一般演題発表(募集中)  
16:40～ 閉会
  4. 開催方法  
本大会は、現地開催とします。しかし、新型コロナウイルス感染者数の増加等、社会情勢が大きく変化した場合は、参加者の安全・健康を優先し、開催方法の変更、あるいは延期する可能性があることもご承知おきください。その際は、参加申込頂いた参加者の皆様へ改めてご連絡致します。
  5. 一般演題発表申込要領  
1) 一般演題発表を希望される方は、「一般演題発表申込フォーム」に演題名および演者等をご記入の上、抄録原稿と併せて大会事務局までお送りください。お送りいただいた抄録原稿は、「予稿集」および学会の機関誌「体力科学」に掲載されます。  
2) 発表者、共同演者ともに日本体力医学会会員でなくても発表は可能です。ただし、「非会員の筆頭演者」が機関誌「体力科学」へ掲載を希望する場合は、3,000円の掲載料を頂戴することになっております。ご了承ください。
  - 3) 抄録原稿  
・原稿は一題900字以内で、表題・著者名・所属・本文を和文で表記してください。表題はゴシック体11ポイント、著者名・所属・本文は明朝体11ポイントでA4用紙サイズ1枚(余白は上下左右25mm)に作成ください。  
・本文は【目的】、【方法】、【結果】、【考察】などの順にまとめて記入してください。図表は掲載できません。  
・共同研究の場合は、発表者に○印をつけてください。  
・原稿はMicrosoft Wordで作成し、大会事務局にメール添付で提出ください。
  6. 一般演題発表方法  
1) 本大会での一般演題は、パソコンを用いた口頭発表です。発表時間は14分(発表10分、質疑応答4分)の予定です。  
2) 使用パソコンを事務局で用意します(OS: Windows10, プレゼンソフト: PowerPoint 2016)。また、ご自身のノートパソコン等をご持参いただいても構いません。発表時のパソコンの操作は、発表者自身で行ってください。  
3) 会場プロジェクターの接続端子はHDMIです。これ以外の端子を装備したパソコンをご使用の場合は、各自で変換アダプタをご用意ください。
  7. 大会参加者へ  
参加される方は大会前に体調確認を行ってください。その際、体調確認シート等、ご提出頂く資料はございません。また、入場される際は手指の消毒をお願いいたします。
  8. 大会事務局  
〒889-1603 宮崎県宮崎市学園木花台西1-1  
宮崎大学教育学部保健体育講座  
担当：塩瀬 圭佑  
(E-mail: kshiose@cc.miyazaki-u.ac.jp)
- ※プログラム内容や時間等につきましては、最終的に変更することがあります。

## 編 集 後 記

体力科学73巻1号をお届けします。本号は、第78回日本体力医学会（佐賀県）のご案内（第2報）、日本体力医学会特別大会－2023東京シンポジウム－の指定演題の抄録、JPFMS, Vol. 13, No. 1（2024）の抄録（3編）、第91回日本体力医学会中国・四国地方会抄録、2023年度日本体力医学会国際学術交流奨励賞学会参加報告等で構成されています。さらに、2022年12月1日～2023年11月30日投稿分の査読を担当して下さった先生方の一覧も掲載されています。ご多忙の中、査読をお引き受けくださいました先生方に心より感謝申し上げます。

私は昨年9月より編集委員となり、副編集委員長という大役を仰せつかっております。編集委員会や学会の先生方のなかにより適任者がいるにもかかわらず、なぜ自分なのかと疑問に思いながらも、この数ヶ月の活動を通して、JPFMSや体力科学は数多くの方々のご協力のもと発刊されている雑誌であることを実感しています。編集委員会はもちろんのこと、編集事務局、学会事務局、さらに、査読者や投稿して下さるの方々によって支えられている状況を目の当たりにし、これまでいかに自分がJPFMSや体力科学の“お客さん側”であったか理解することができました。このとき、私のなかに2つの小説のセリフが浮かんできました。一つは私の大好きな小説にある「そもそも自らの手で支えることのできるものを、我と呼ぶのではないのでしょうか」というもので、もう

一つは「何度も手をかけることだ。そこに愛情が生まれるのだよ。ほうっておいてはいけない。人でも物でも、ほうっておいては、持っていた愛情も消えてしまう」というセリフです。（私はどうも“陽子”という主人公に縁が強いようです。）私を含め多くの会員の皆様にとって、どうしたらJPFMSや体力科学が我（々）の雑誌とってもらえるようになっていくのか、さらに、その思いをどうしたら継続・継承していくことができるのか、そんなことを考える数ヶ月となっています。

さて、2024年はどのような年になるのでしょうか？2023年の今ごろはこのように考える状況になっているとは想像すらできませんでした。おそらく、私にとってこの1年は、自分の目標に向かって進みながら、その時々に必要なことに対応しつつ、予期せぬ機会に巡り合うことを期待する、そんないつもの1年になるのではないかと考えています。

最後となりますが、会員の皆様におかれまして、査読者との巡り合わせに思いを馳せながら、引き続き、体力科学およびJPFMSへのご投稿をよろしく願います。そして、編集後記を読んでもらった“マニア”な方々の1年が良い年となりますよう心よりお祈り申し上げます。

門 間 陽 樹

## The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.73, No.1

### 体 力 科 学 第 7 3 巻 第 1 号

令和 6 年 1 月 25 日 印 刷  
令和 6 年 2 月 1 日 発 行

編集兼発行者  
発 行 所

編 集 事 務 局

印 刷 所

後 藤 勝 正  
一般社団法人日本体力医学会  
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13  
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内  
TEL：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012  
E-mail：jspfsm@asas-mail.jp  
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社内  
TEL：0235-22-3120 FAX：0235-22-3120  
E-mail：hj-tairyoku@turuin.co.jp  
〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1  
鶴岡印刷株式会社